



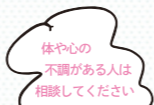
＼フレイフレー！高校生！／ MESSAGE TIMES

がんばろう！ものづくりの力を応援します！



MESSAGE

現在に目を向け、
今できることに取り組んで



今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で3月から臨時休校となり、県内のほとんどの高校が6月から学校再開となりました。学校再開にあたって、高校生のみなさんもさまざまな不安があったでしょうが、7月末で夏休みに入るまで心配されていたような大きな混乱はほとんどなく、概ね予定通りに学校生活を送れたのではないかと、思います。

例年より短かった夏休みが明け、高校三年生のみなさんはこれから就職活動や受験といった大きなライフイベントを迎えることとなります。通常でも不安や緊張によるストレスが生じやすい時期ですが、新型コロナウイルス感染症の影響が今後も続く可能性があり、さらに不安や悩みを抱える人は多いのではないのでしょうか。今の状況ではそれは特別なことではなく、誰にでも起こり得る心理反応です。不安や悩みがある場合は、一人で悩みを抱えないよう、親しい家族や友人、先生などに話してみてください。また、休息や運動、趣味による気分転換など、自分自身で心身のストレスを調整することも大切になります。

フロイト、ユングと並び「心理学の三大巨頭」と称されるアルフレッド・アドラーは、「楽観的であれ。過去を悔やむの

ではなく、未来を不安視するのでもなく、今現在の「こ」だけを見るのだ」という言葉を残しています。過去のことばかり考えると、自責と後悔の念が生じて落ち込んでしまいますし、未来を考えると、良い想像よりも悪い妄想ばかりが膨らんで不安になってしまいます。こういった時は、過去や未来ではなく現在に目を向けるように心掛けてください。具体的な目標に向かって、今できることに一生懸命に取り組む、一日一日と少しずつ積み重ねることで未来は拓けていきます。心理的にきつい状況が続いているので、周りの同級生と支え合い、先生や家族のサポートを受けながら、それぞれの就職活動や受験に臨んでください。

「アルフレッド・アドラー」アドラー心理学を提唱、勇気づけと、共同体感覚という二つの価値観を特に重視する。



鈴木正貴さん
臨床心理士・公認心理師
宮城県教育庁高校教育課
スクールカウンセラースーパーバイザー



ものづくり企業見学会が
いよいよスタート！



石巻工業高校化学技術科の39人が
東北電子工業(株)北村工場を訪問

宮城県産業人材対策課企画の高校生向けものづくり企業見学会は今年度、新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、開催が自粛されていたが、このほど始まり、7月15日、石巻工業高等学校化学技術科の生徒39人が石巻市の東北電子工業株式会社の北村工場を見学した。

同社北村工場は自動車関連部品の生産を担当、主要品目はハイブリッド車向けバッテリーケースが挙げられる。生徒たちは新型コロナウイルス対策として、検温、手指消毒、マスク着用を徹底、さらに午前、午後の2班に分かれて見学を行った。また、北村工場内では、会社概

要説明、金型製作部門見学、バッテリーケース製作部門見学という三つの実施項目に合わせて、3グループをつくり、1グループ7人程度で行動した。

それぞれの現場で係員が工程を説明、初めて見る製造設備に目を丸くする様子が見られた。見学を終えた生徒からは「思ったより身近な物を生産していることが分かった。ハイブリッドカー用のバッテリーがどのように作られているかを詳しく知ることができて勉強になった」などの声がかかれた。引率した佐藤正武教諭は「見学会が無事実施でき、製造の現場を生徒たちが見られて良かった」と話した。



会社の概要について説明を受け、真剣に聞く生徒たち



設備や製造物など実際の生産現場を見学し、見聞を広めた

宮城新卒者等人材確保推進本部からのメッセージ

新型コロナウイルスの影響による企業の事業活動縮小が懸念される中、新規学校卒業者等の皆さまが安定した就職先を確保し、充実した職業生活を送ることができるよう、企業との懸け橋となる各種就職支援および職場定着支援を「就職・採用応援プラン」により推進します。

詳しくは、宮城労働局ホームページをご覧ください



小竹孝埋木細工
細工師 小竹 孝 Takashi Kotake

「絵心」は身を助く
埋もれ木細工に思いぶつけた



「幼い頃、埋もれ木を舐めたことがある。だって板チョコみたいだから」。そう言って笑いながら、手にした木片を見る。「埋もれ木」は500万年前に炭化して化石のようなになった樹木。そして、そう遠くない将来、埋もれ木はなくなる。間違いなく「埋もれ木細工を主として仕事をする最後の職人」だ。

埋もれ木は「大きな塊で残っている物が少ない一方で小さな木片はそれなりにある」。花器、茶道具といった具合に、その木片が何に向いているかを見極める。ナタで目星をつけた後はノミでくり抜いていく。埋もれ木細工は独特の艶も魅力で、それは拭漆の賜物だ。

10代の頃、漫画家を志した。有名な出版社に作品を持ち込んだこともある。「自分は絵心があつたからデザインのアイデアを思い通りに描出できた。それが全ての仕事につながっています」。工芸関係のコンクールで大きな賞を数多く受賞している。現在76歳。70歳で初めて絵本を手掛けた。今、埋もれ木細工に限らず、自身の創作意欲とひたすら向き合う。